

平成30年度南河内中学校区小中一貫教育グランドデザイン

下野市学校教育目標

- 1 自主的に学び、主体的に問題を解決しようとする子どもを育てる。
- 2 豊かな情操と道徳性を備え、礼儀正しい子どもを育てる。
- 3 自他の生命・人権を尊重し、強い意志と健康な身体をもつ子どもを育てる。
- 4 勤労・奉仕の精神を理解し、すすんで社会のために尽くそうとする子どもを育てる。
- 5 郷土の文化と伝統・自然に誇りを持ち、自信をもって(国際)社会で活躍できる資質を備えた子どもを育てる。

南河内中学区小中一貫教育目標

ふるさとを愛し、
夢に向かって高め合える子を育む

- ・すすんで学ぼう
- ・心をみがこう
- ・体をきたえよう

下野市小中一貫教育の方針

- 9年間の学びをつなぎ、確かな学力、健やかな体の育成、豊かな心の育成を保証します。
- 9年間の一貫した児童生徒理解により、子どもたちが安心して学べる場を提供します。
- 郷土への理解を深め、ふるさとを愛する心を育てる教育活動を推進します。
- 「学校運営協議会」の導入により、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

地域の様子

下野市の東にあり、豊かな自然に恵まれ、下野薬師寺跡などの文化遺産もある。国道新4号が南北に走り、「道の駅しもつけ」がにぎわいを見せている。比較的、三世帯同居の家族が多く、新興住宅も増えている。地域の連帯意識は高く、保護者や地域住民は学校の教育活動に協力的である。

9年間で目指す子ども像

小1 小2 小3 小4 ← 学びの基礎をつくる →	小5 小6 中1 ← 学びを広げる →	中2 中3 ← 学びを深める →
<ul style="list-style-type: none"> ○進んでなかよく勉強する子 ○友だちに優しくできる子 ○元気に楽しく運動する子 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え学び合える子 ○心やさしく助け合う子 ○体をきたえやりぬく子 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら学んで互いに高め合える子 ○心豊かで助け合える子 ○健康で元気な子

児童生徒の様子

素直で穏やかな児童生徒が多い。異学年交流が盛んで、下学年を思いやる優しさがある。また、委員会活動や美化活動に進んで取り組んでいる。学習面では、真面目で実直に物事を行える良さをより生かして、学習習慣の定着を図り、基礎学力の向上に取り組んでいる。

小中一貫教育推進体制

管理職部会

プロジェクト部会

推進部会

学力の向上をめざす

- ◎重点教科(国、算・数)の指導連携
- ◎家庭学習強化週間(ノゲ-メ-)の実施
- ◎学習のきまりの定着
- ◎学力調査に基づく共通の課題の対策

豊かな心を育てる

- ◎子ども未来プロジェクトの推進
- ◎道徳教育の推進
- ◎生活のきまりの徹底
- ◎スクールカウンセラーとの連携

体力の向上をめざす

- ◎体力向上の推進
- ◎健康面での家庭との連携
- ◎共通の健康課題の改善と保健指導(地域学校保健委員会の検討)

キャリア教育を推進する

- ◎学校間のつながりを大切にした特別活動の実施
- ◎地域の教育資源を生かした「ふるさと学習」の充実
- ◎特別支援教育の連携
- ◎職場体験学習の実施

コミュニケーション力を育てる

- ◎しもつけ未来学習の推進(英語による発信力の育成)
- ◎小中交流活動の推進(合唱、部活動、学校行事)

地域とともにある学校

薬師寺小学校

児童数 341名



ふるさと体験学習

薬小祭・薬小っ子集会

吉田東小学校

児童数 84名



鼓笛隊

祖父母とのわら鉄砲作り

吉田西小学校

児童数 86名



トウワウ材保存活動

蔵王祭

南河内中学校

生徒数 212名



全校生徒による花植え
体育祭3学年縦割りによる応援団